

パブリック
コメント

「みたか・子どもと絵本プロジェクト」を みなさんと一緒に進めたいと思っています！

市では、子どもたちがあたたかいふれあいの中で絵本と出会い、生き生きとゆたかに成長することを願って、市内全域で、市民のみなさんとの協働により、みたか・子どもと絵本プロジェクトを進めています。

このプロジェクトは当初、「絵本館（仮称）」の整備の計画から始まり、三鷹市絵本館構想検討会議がその考え方を自由な発想で深める中で、提言「みたか・子どもと絵本プロジェクト」をすすめるための推進計画（案）ができましたので、みなさんのご意見をお寄せください。

↓コミュニティ文化室絵本館担当 ☎内線2511

このプロジェクトは、市民や専門家などで構成される「三鷹市絵本館構想検討会議」が今年2月に市に行った提言に基づいたものです。

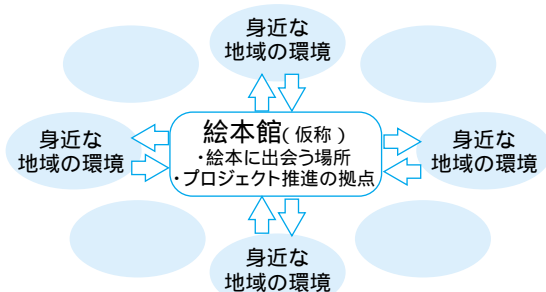
提言「みたか・子どもと絵本プロジェクト」の概要

プロジェクトは、絵本館の構想のもとにある「未来を担う子どもたちが、親や地域のおとなたちとゆたかにあふれあいの中で多様な絵本と出会い、心豊かな心をつくり、生き生きとゆたかに成長する」という願いを市内全域に広げ、絵本との出会いをきっかけとして、三鷹市内にさまざまな活動や資源をつなぐ新たなネットワークが広がり、人々の交流と創造の場がより広がることを目指しています。

現代の子どもたちは、人とのつながりが希薄で、体験に裏打ちされたゆたかな心づかいを身につけることが難しい状況におかれています。子どもたちのゆたかな心の育ちには、より多くのおとなが、子どもたちとゆたかに向かい合える、ゆたかな「コミュニケーション」を持つことが必要です。

身近な地域を、絵本と出会う環境に近づけた考え方をもち、活動を通じて子どもたちにゆたかにあふれあいの場をつくり、プロジェクトの構想の範囲を、子どもたちが歩いて行ける身近な地域の活動と、それを支える推進する拠点・絵本館を合わせたものとしています（図1参照）。

図1 みたか・子どもと絵本プロジェクトの全体像

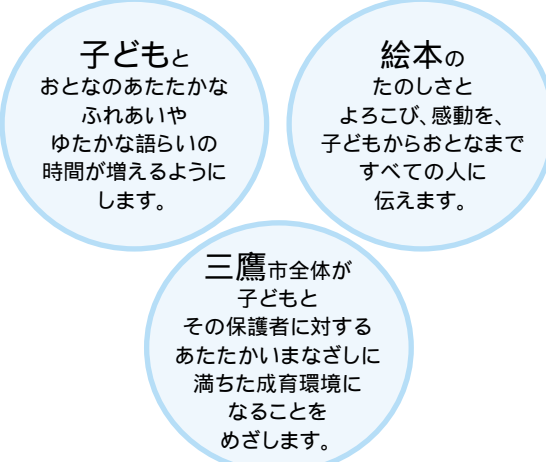


そのために最も重要なのは活動の担い手の存在です。地域のたくさんのおとなが子どもと絵本に関心をもち、多岐にわたる活動を行う、地域の子どもと出会う機会を、三鷹市全域に絵本と出会い、楽しさを体験できる環境をつくり、市民の交流を深めます。子どもと絵本にかかわる多彩な活動を展開

プロジェクトの目的（図2参照）を達成するため、体験が不足している現代の子どもやおとなに絵本の世界を入口に自然や生活体験へとつなげていくことや、さまざまな世代の交流によって、子どももおとなも「コミュニケーション」がゆたかになることをねらった事業を行います。また、多くの大人が絵本の面白さを伝えるための事業や、活動の担い手となる人材を養成する事業など、さまざまな活動を展開します。

図2 プロジェクトの目的

「子ども」「絵本」「三鷹」がキーワード

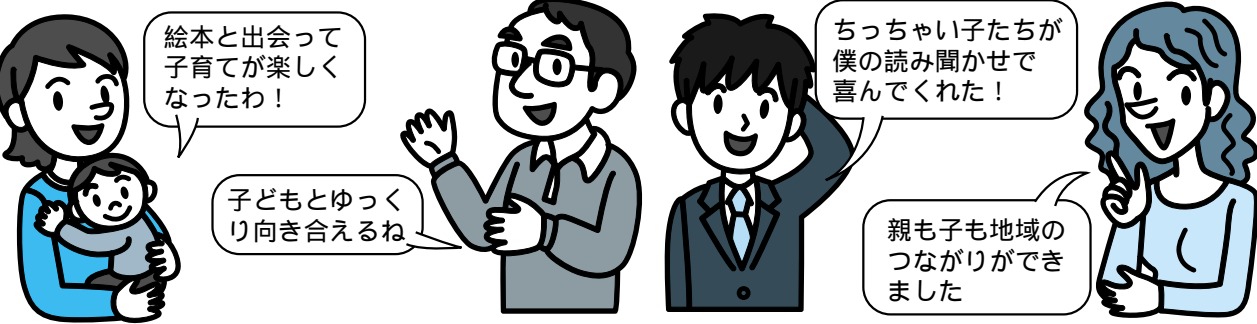


より、市民の知恵を集めることのできる「開かれた運営」を大切にします。

絵本館の計画づくり」成果を反映

絵本館は、市内全域でプロジェクトを推進するための拠点施設であり、多様な人々が絵本の楽しさと魅力と出会う場でもあります。多くの人がプロジェクトにかかわる機会をつくり、活動を支え、輝かせるはたらきをします。

プロジェクトの先導的な事業を通じて、絵本館にどのような要素や機能を持たせることが効果的かを具体的に検証し、プロジェクトに関わる現場の人々の声を反映して施設の計画をつくっていくこととします。



絵本と出会って子育てが楽しくなったわ！

子どもとゆたかに向き合えるね

ちっちゃい子たちが僕の読み聞かせて喜んでくれた！

親も子ども地域とのつながりができました

みたか・子どもと絵本プロジェクト推進計画（案）

【概要】この計画は提言「みたか・子どもと絵本プロジェクト～みんなで育む大切なもの～」の考え方を反映し、市の施策として推進していくための計画です。

- 計画期間 平成18年度～平成22年度の5年間
- 推進の基本的視点 次の事項を基本的な視点として踏まえて事業を展開していきます。
- (1) プロジェクトの考え方の共有
 - (2) 地域の子育て文化の継承と創造
 - (3) 豊かに生きることにつながる活動
 - (4) 協働、連携による活動展開と地域の活性化
 - (5) 子どもの自発性と参加
 - (6) 市民による開かれた運営
 - (7) プロジェクトのイメージの確立

重点事業（下表参照）事業の評価・検証と見直しの方法

プロジェクトが常に進化し続けるために、事業のねらいや考え方を明確にし、反応・意見を集め、企画運営委員会によって事業の成果の評価・検証を行います。また、ウェブ上やシンポジウム開催など、だれでも参加できる検討の場を設けます。

推進の体制

当面、外部の専門家と連携し、ボランティアの人材発掘・育成を行いながら、企画運営委員会を中心とする市民との協働によって運営を行います。また、友の会、調査研究組織、市の各部署の連絡会議などの設置を検討します。

ソフト中心に現場の声を生かして施設づくり

～場所や規模、機能もこれから検討

絵本館整備に向けた基本方針

絵本館整備の進め方は、プロジェクトの事業を先行して実施し、その成果とプロジェクトにかかわる人々の現場の声を生かして絵本館の具体的なプランをつくりあげていくというソフト中心の施設づくりが特徴です。施設計画策定にあたっては、先行事業の成果を検証し、市民ボランティアや参加者の意見、多様な専門家の助言を得て、適地の選定や施設規模、運営主体、経営形態、財源確保の方策、建物の基本計画、設計などの検討を進めていきます。

みたか・子どもと絵本プロジェクト推進計画（案）重点事業						
重点事業		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
ジャンル	項目	2006	2007	2008	2009	2010
地域活動の担い手の育成	各種ボランティア養成講座	コミュニティセンター・図書館・社会教育会館・三鷹ネットワーク大学など				
	青少年ボランティア育成（青少年の健全育成と地域への参加）	中学生・高校生などによる地域での活動				
	ボランティアの活動の場づくり	→				
地域環境	担い手の交流の場づくり	→				
	ベビーフレンドリー化事業（地域の施設を赤ちゃんにやさしく改善）	ワークショップ形式による検討・プランづくり				
	地域環境の充実（絵本・児童書のある施設の充実）	図書館、学校図書館、児童館、コミュニティセンターなど				
子育て文化	はじめての絵本（ブックスタート）事業のリニューアル（推進体制の強化）	調査・検討・準備 → 新体制での実施				
	体験参加型事業・絵本から広がる遊び（乳幼児と保護者向け）	季節行事、わらべうた、自然体験など				
	母語が異なる親子の交流事業（多文化共生）	→				
芸術文化	市民企画事業（実行委員会による展覧会などのイベント）	→				
	体験・参加型事業・絵本から広がる世界（子ども向けワークショップ）	絵本づくり・詩や音楽・科学遊びなど				

「みたか・子どもと絵本プロジェクト推進計画（案）」に関するご意見をお寄せください

推進計画の方向性や内容についてのご意見、プロジェクトについてのご提案や関連情報などをお聞かせください。

募集期間 6月30日（金）まで

提言および計画の全文は、市のホームページに掲載するほか、コミュニティ文化室、情報公開総合窓口、図書館（本館・下連雀・東部・西部・駅前）、社会教育会館（本館・東館・西館）のびのびひろば・すくすくひろば・ハミング、児童館（東館・西館）むらさき子どもひろば、各市政窓口、市民協働センター、各コミュニティセンターで冊子を配布しています。

ご意見のあて先

ご意見・ご感想は、氏名・住所を記入し、郵便、ファクス、Eメールでお寄せください。

〒181-8555 三鷹市コミュニティ文化室絵本館担当
☎45-5291 ✉komyunitei@city.mitaka.tokyo.jp